

立命館大学 2012 年度人文科学研究所助成プログラム
「戦後沖縄の基地周辺における都市化の歴史地理」研究会

コザ「ビジネスセンター」計画・再考

コザ「ビジネスセンター」建設とは・・・

■どのような構想・計画であったのか？

■地形や景観はどのような変化を遂げたのか？



コザ市センター通りから字胡屋・仲宗根をのぞむ
1967(昭和42)年3月25日撮影

公開シンポジウムを開催いたします。

日 時	2013(平成25)年1月19日(土)13:30～15:30
会 場	沖縄市役所 地下1階 職員研修室
主 催	立命館大学 2012 年度人文科学研究所助成プログラム 「戦後沖縄の基地周辺における都市化の歴史地理」研究会
後 援	沖縄市役所 総務部総務課 市史編集担当

立命館大学人文科学研究所の助成プログラム（2011～2013年度）を受けて組織された「戦後沖縄の^{きちしゅうへん}基地^{としか}周辺における都市化の歴史地理」研究会では、これまで^{おきなわしやくしよ}沖縄市役所^{ししへんしゅうたんとう}総務部総務課市史編集担当のスタッフの方々の協力を得て、旧コザ市域を中心に調査・研究を進めてまいりました。そのなかでも、現在グループでは、^{しろませいぜん}城間盛善村長（当時）のもとで構想・実施された「ビジネスセンター」の建設について検討を進めております。具体的には、ビジネスセンターの〈理念〉と〈構想〉の特徴を明らかにするとともに、^ち地^{りがく}理学的なアプローチを最大限に^い活かし^{ふくげん}ながら、地形・景観の復原を行なっております。

これら一連の調査・研究の成果について、いまだ中間報告の域を出るものではありませんが、地元の沖縄市でシンポジウムを開催し、一般の方々も含め、ひろく意見・情報を交換する機会を持ちたいと考えております。

ぜひお越し下さい。

報 告 者

* 恩河 尚 氏 （沖縄市役所 総務部）

「沖縄市の概要」

* 加藤 政洋 氏（立命館大学教員）

「ビジネスセンター計画の構想と理念」

* 河角 龍典 氏（立命館大学教員）

「ビジネスセンターの都市計画とランドマーク」